



翔べ！松中生

令和6年度 第1号 4月8日発行

「令和6年度を迎えて」

校長 大山 亨

本年度着任いたしました校長 大山亨と申します。伝統ある松伏中学校に着任できたことをうれしく感じるとともに身の引き締まる思いです。校長として職員とともに、生徒の望ましい成長のため、保護者の皆様の思い、社会のニーズに応じた教育活動を推進してまいります。そして、本校の歴史と伝統を引き継ぎ、さらに発展させるべく尽力する所存です。

本日4月8日(月)に、令和6年度第1学期始業式、入学式を挙行了いたしました。本年度新入生を74名迎え、全校生徒234名となりました。1年2学級・2年2学級・3年3学級、特別支援学級2学級、計9学級となり、教職員数30名でスタートしました。教員は、7名の教職員が人事異動となり、新たな職員を迎え、新たな体制となりました。

本校の学校教育目標は『**学び合い 支え合い 高め合う生徒**』です。その具現化を目指し、私たち松伏中学校職員は、全職員一丸となって新しい時代に即応した教育実践に努力して参りたいと考えております。学教教育目標では「〇〇合う」と掲げています。これは、望ましい人間関係のもと、互いを尊重し、互いに成長する学校を目指しているものです。学校は社会の縮図です。人と人との関係を大切にすることは必ず将来の生活に寄与するものと考えます。本校の生徒は伝統的に「あいさつ」が清々しくできます。人間関係づくり、礼儀の基盤となるものです。また、「合唱」も評価をいただいております。合唱を創りあげるためには「〇〇合う」は欠くことができません。学習や生活のみならず、行事や部活動、趣味、特技など、どの分野においても「〇〇合う」を大切にされた指導を行い、良き伝統を発展させて参りたいと考えています。

入学式、始業式では、生徒に以下の3つの心がけてほしいことを伝えました。以下概要を紹介いたします。

1つめは、『**心を磨くこと**』です。心は多面的、多角的に深く真剣に自問し、判断し、実践を繰り返すことで、時間をかけて涵養されていきます。すべての行動の原動力は心です。心を磨き、鍛えることは生涯に渡り大きな価値があります。

2つめは、『**授業を大切にすること**』です。50分間の授業すべてを自分にとって、「分かった」「できた」を実感し次に期待することが理想です。学習の意義を理解し、課題を正面から捉え、粘り強く取り組むことが大切です。50分間集中して考え、取り組むことを継続することで必ず成長します。

3つめは、『**夢や志をもつこと**』です。将来の生き方に大きな影響を与える、成長著しい時期です。具体的な目標をもつことで、「心を磨き」「授業を大切に」ができます。5年後、10年後の輝いている自分を想像し、そのために今できることを確実に実施することが大切です。

ご家庭におかれましても、ご指導いただきたくお願いいたします。

「自分を大切にし、自分と同じように他者を大切にすること」で望ましい人間関係をつくり、全ての生徒にとって、充実した中学校生活となるよう、職員一同、誠心誠意、力を尽くしてまいります。

保護者や地域の皆様方におかれましては、引き続き松伏中学校のために、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。